

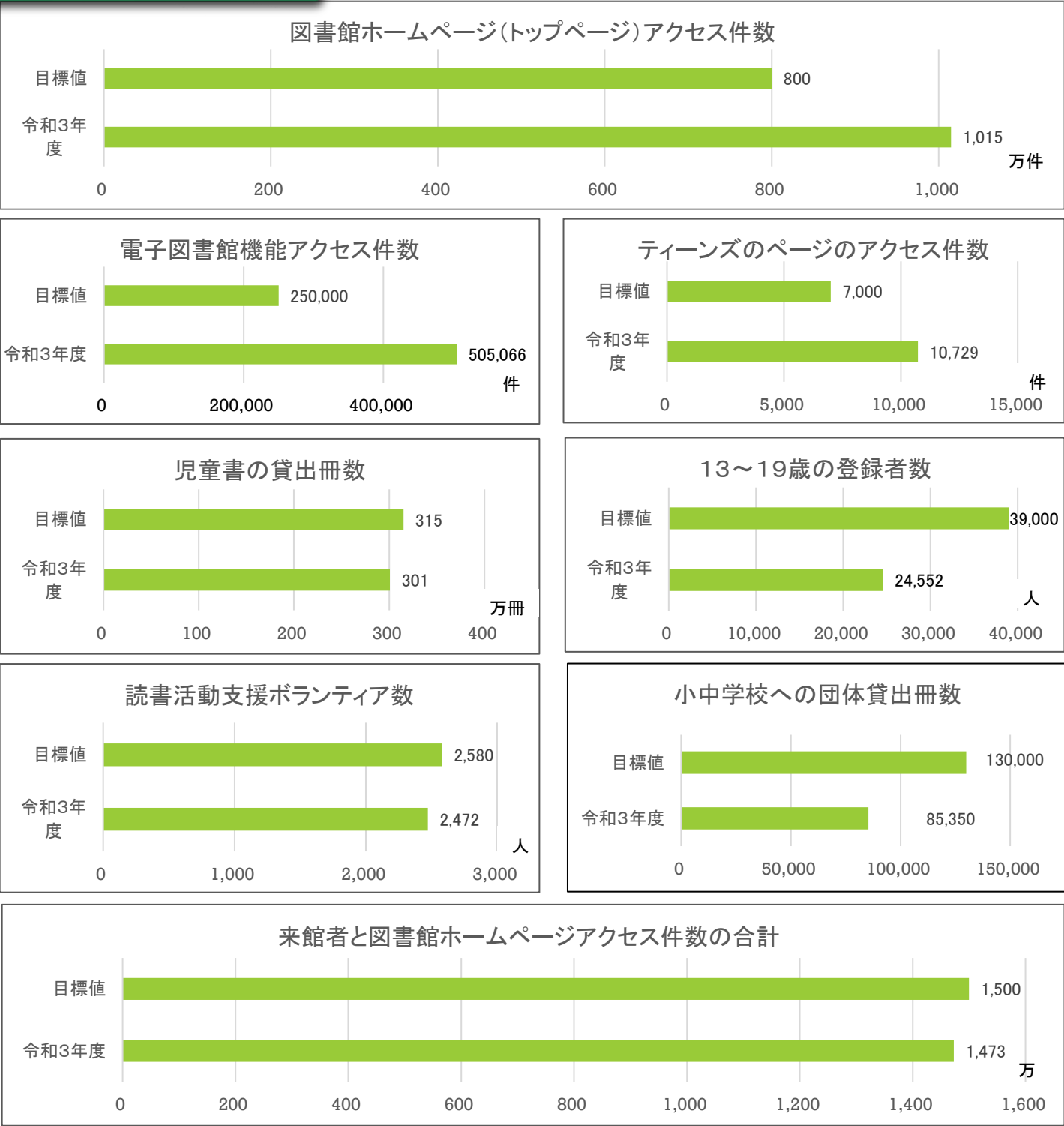
令和3年度大阪市立図書館の目標について [振り返り]

大阪市立図書館では、平成30年4月に、「大阪市教育振興基本計画」「生涯学習大阪計画」等主要な各計画の中で、市立図書館サービスに関わる項目を抜粋し、4つの基本方針に沿ってカテゴリ別に整理した「図書館サービスに関わる大阪市主要計画 抜粋版 2018-2020」をとりまとめた。

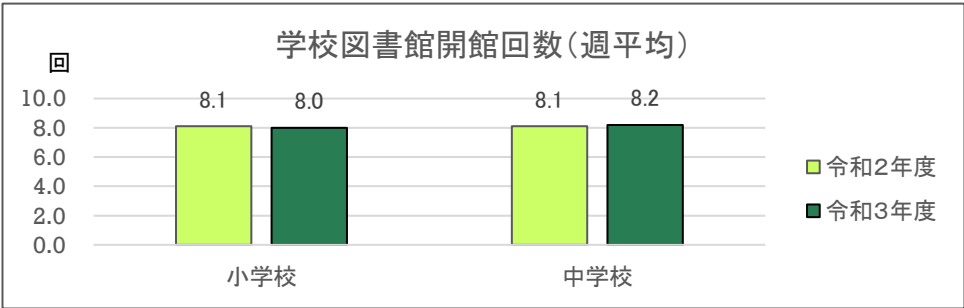
29年度まで単年度ごとに行ってきた「大阪市立図書館の目標とその振り返り」については、30年度より主要計画の基本方針に沿って、具体的な実施状況の検証を行うこととした。令和3年度に掲げた成果指標や主な業績（取組）目標に対する結果ならびに各基本方針での具体的取組結果を報告するとともに、自己評価を記すこととする。

なお、令和3年4月25日から6月20日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全館臨時休館し、自動車文庫は運休した。また、4月5日から24日まで、6月21日から7月11日まで、8月2日から9月30日まで中央図書館で開館時間を短縮した。図書館行事は定員の半数までとするなど対策を講じて実施した。

主な成果、業績



全小・中学校において開館日数や回数を増加させるなど学校図書館の充実ならびに読書活動の活性化を図る。



基本方針 1 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目		具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
情報収集・課題解決のための図書館機能の充実	図書館資料の充実	・市民のニーズにあった図書館資料の収集とタイトル数の確保 ・参考図書や主題図書など市民の課題解決に役立つ資料の充実整備 ・区の情報拠点としての地域の資料・情報収集機能の充実整備 ・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実	・収集図書タイトル数の維持 ・寄贈受入冊数の増 ・参考図書の蔵書増 ・地域資料の蔵書増 ・学校支援用図書の蔵書増	・新刊図書購入タイトル数 29,029冊（前年度比2.6%減） ・寄贈図書 35,102冊受入（前年度比3.2%減） ・参考図書を新たに、1,996冊受入し、市民の課題解決に役立つ資料収集を継続 ・地域資料を収集・整理し、5,892冊を新たに提供 ・調べ学習支援等の児童図書を継続整備（購入受入：437冊 前年度比3.8%増） ・R4年3月中央図書館ネーミングライツパートナーより調べ学習用図書寄贈收受（中央図書館394冊）	○
	レファレンス・情報サービス・情報発信機能の拡充 レファレンスサービスの周知 情報リテラシーの向上支援	・ビジネス講座の充実 ・OMLIS（利用者用検索端末）使い方講座の開催 ・国立国会図書館レファレンス協同データベース事業へのレファレンス事例公開 ・レファレンスサービスの周知 ・横断検索（他機関の所蔵一括検索）の利用促進 ・ディスカバリーサービス（各種データベースの一括検索）の利用促進 ・ホームページ「おおさか資料室」の拡充 ・「思い出のこし」事業の推進	・ビジネス講座の参加者数増 ・ビジネス講座の動画公開 ・使い方講座の継続開催 ・レファレンス公開件数の増 ・レファレンス事例アクセス件数の増 ・アンケート満足度の増 ・横断検索のアクセス件数維持 ・OMLINサーチのアクセス件数維持 ・「おおさか資料室」アクセス件数増 ・「思い出のこし」カードの受理・公表継続 ・「思い出のこし」カードのデータベース化	・ビジネス講座参加者数202人（前年度256人） ・ビジネス講座の動画公開 6タイトル8件（再生回数 1034回） ・ビジネス支援サービス案内動画公開 2件（再生回数 1133回） ・使い方講座の開催13回（前年度29回） ・レファレンス公開件数 1,434件（前年度比 5.2%増） ・レファレンス事例アクセス件数 673,873件（前年度比 2.2%減） ・アンケート満足度 中央図書館60.9%（前年度比 4.3%増） ・「可視化と経験でレファレンス向上～R1GP」で第7回図書館レファレンス大賞図書館振興財団賞受賞（Code for OSAKAと共同受賞） ・横断検索のアクセス件数 279,651件（前年度比6.4%増） ・OMLINサーチのアクセス件数 376,098件（前年度比0.8%増） ・「おおさか資料室」アクセス件数 13,622件（前年度比28.3%増） ・「思い出のこし」カード受理198件、公表65件（前年度受理67件、公表32件）	◎

	市民への広報の拡充（利用の促進）	・広報媒体の効果的活用 ・図書館ホームページでの情報発信の拡大 ・SNSを使った情報発信の拡大 ・「新着おしらせメール」など情報提供の拡大	・SNSを使った情報発信の維持 ・「新着おしらせメール」登録件数増	・Twitter発信件数1,251件（前年度比10.0%増） ・Facebook発信件数42件（前年度比55.8%減） ・「新着おしらせメール」登録件数 9,959件（前年度比4.8%増）	○
図書館利用のアクセス機会均等	障がい者サービスの利用促進 アクセシブルな書籍等の充実	・読書バリアフリーに関する広報・啓発 ・視覚障がい者への資料提供充実 ・LLブックの充実整備と利用促進 ・マルチメディアデージー図書の充実と利用促進	・読書バリアフリー研修等の実施 ・国立国会図書館の「視覚障がい者用データの収集及び送信サービス」へのデータ提供拡充 ・障がい者サービス利用促進に向けた広報物作成 ・所蔵点数の維持 ・読書体験会等の開催	・国立国会図書館の「視覚障がい者用データの収集及び送信サービス」へのデータ提供6回 ・職員を対象に「障がい者接遇研修」を実施 ・LLブック 所蔵点数619点（前年度比17点増） ・マルチメディアデージー 所蔵点数192（前年度比1点減） ・読書体験会、製作講習会など開催12回136人	○
	多文化サービスの展開	・外国語資料の充実 ・多言語による利用案内 ・外国語資料ページの充実 ・日本語に習熟していない人のための「やさしいにほんご」のページの充実 ・やさしいにほんごモードのOPACの広報・周知 ・ハングル市図書館との図書交換の継続実施 ・電子書籍の活用	・外国語図書の購入継続 ・外国語の絵本等を活用した行事の実施 ・外国語資料ページのアクセス件数増 ・やさしいにほんごのページのアクセス件数増 ・やさしいにほんごモードOPACのアクセス件数増 ・図書交換の継続実施 ・電子書籍（外国語・日本語学習用図書）のアクセス件数の維持	・外国語図書の受入 1,072冊 ・いろんなことばのおはなし会（3回開催） ・「多文化にふれるえほんのひろば」中止 ・大阪市内日本語教室等国際交流関連団体や学校に対して多文化行事の広報実施できず ・外国語資料ページ アクセス件数5,759件（前年度比50.2%増） ・やさしいにほんごのページのアクセス件数14,971件（前年度比14.2%増） ・やさしいにほんごモード アクセス件数2,404件（前年度比8.5%増） ・ハングル市図書館との図書交換実施 ドイツ語図書89冊受取、日本語図書70冊送付 ・電子書籍（外国語・日本語学習用図書）アクセス件数5,957件（前年度比28.5%増）	○

電子図書館機能の利用促進	・電子資料の収集・提供による電子図書館機能の充実 ・商用データベース、電子書籍等課題解決につながる電子図書館機能の利用促進 ・市立図書館見学や職場体験等で電子図書館機能活用講座等を実施 ・音楽配信サービス（ナクソス・ミュージック・ライブラリー等）の利用促進 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	・商用データベース前年度アクセス件数維持 ・電子書籍アクセス件数増 ・電子図書館機能活用講座（一般対象・小中学生対象）の開催や動画による電子図書館機能の案内 ・ナクソス・ミュージック・ライブラリーサービスのアクセス件数維持 ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスの継続 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの継続	・商用データベースアクセス件数80,756件（前年度比50.1%増） ・電子書籍アクセス件数53,827件（前年度比38.4%減） ・電子書籍フルテキスト閲覧件数60,785件（前年度比74.2%増） ・郵送での図書館カード・パスワード発行申請サービスの受付76件（前年度 74件） ・電子図書館機能活用講座や利用案内等（一般対象）126回（前年度53回） ・電子図書館機能活用講座（小中学生対象）23回（前年度5回）（体験学習でのOMLIS研修等を含む） ・電子書籍利用案内動画 5タイトル 再生回数1540回 ・ナクソス・ミュージック・ライブラリーサービスのアクセス件数39,033件（前年度比4.9%増） ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスのアクセス件数 360件（前年度比22.4%減） ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用件数 5,191件（前年度比48.3%増）	○
	・デジタルアーカイブの利用促進 ・オープンデータの利活用促進	・デジタルアーカイブ画像の高精細化 ・デジタルアーカイブのアクセス件数維持 ・デジタルアーカイブのオープンデータ画像について関連展示等イベント実施	・デジタルアーカイブ新規搭載点数10点 ・デジタルアーカイブアクセス件数325,899件（前年度比4.8%増） ・R4年3月末デジタルアーカイブのオープンデータ公開コンテンツ数：7,304点（R3年度追加点数10点） ・オープンデータ画像の人気投票イベントや関連展示等、年間を通じて継続実施 ・R3年7月にデジタルアーカイブとジャパンサーチとの連携開始	○

地域連携・支援と学習拠点としての機能拡充	・各区広報紙や大阪市生涯学習情報誌「いちよう並木」への市立図書館の情報掲載、情報紙などによる読書普及行事等の情報提供の充実 ・区役所等地域施設との連携強化 ・地域の企業団体との連携実施	・SNSでの情報発信件数の維持 ・区役所や子育て支援施設等地域施設と協力した連携事業件数の維持	・Twitter発信件数1,251件（前年度比10.0%増） ・Facebook発信件数42件（前年度比55.8%減） ・区役所や子育て支援施設等地域施設との連携事業件数1,195件（前年度比26.3%増）	○
	・SNSの活用による震災に関する情報の収集・保存・発信 ・地域における防災・減災への取組支援 ・地域情報の豊富化によるシビックプライドの向上支援	・震災に関するWebギャラリー継続 ・中央図書館防災コーナーの設置 ・館内での地域情報の発信	・災害に関する電子書籍やデジタルアーカイブ画像をTwitter等SNSで紹介 ・防災コーナーの継続、図書リスト更新 ・講座「過去の災害から学ぶ「お金の防災対策」」開催23人 ・動画「知ってそなえる減災につなげる 防災コーナーご案内」」（再生回数 250回） ・オンライン講座「工作でまなぼう防災教室ーじしん・つなみにそなえて」開催 12人	

基本方針 2

人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、地域や市民との連携事業の企画調整

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
子ども読書活動の推進	・「第3次大阪市子ども読書活動推進計画」の推進 ・「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の策定 ・「こどものほんだな」の作成・配布 ・電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進 ・ホームページ「こどものページ」・「子どもにすすめる本」ページの内容豊富化 ・来館や貸出でポイントがたまる「としょかんポイントプログラム」実施による読書推進 ・自動車文庫巡回ステーションでのお楽しみ会開催等利用促進に向けた取組実施	・「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の策定 ・「こどものほんだな」の作成・配布 ・電子書籍の英文児童書リストの作成・提供 ・「こどものページ」のアクセス件数の維持 ・「子どもにすすめる本」のページのアクセス件数の維持 ・としょかんポイント参加者数（15歳以下）の増 ・自動車文庫車で1日当たりの児童書貸出冊数維持	・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」を開催（9/15）、各区の「子ども読書活動推進連絡会」の全区書面実施 ・「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の策定（令和4年3月） ・「こどものほんだな」4月作成・配布 ・大阪市立学校向け電子書籍専用ページを開設（5月） ・電子書籍小学生、中学生、高校生にすすめるリスト 10～3月作成・提供 ・電子書籍 小中高校生向け英文リーダーリスト 3月作成・提供 ・「こどものページ」アクセス件数19,295件（前年度比32.3%増） ・「子どもにすすめる本」のページアクセス件数15,099件（前年度比35.6%増） ・としょかんポイント参加者数（15歳以下）3,507人（前年度比68.8%増） ・自動車文庫車で1日当たりの児童書貸出冊数568冊（前年度比6.0%増）	◎
	・ティーンズ層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催 ・ホームページ「ティーンズのページ」等の充実 ・小学校高学年向け事業の充実	・ティーンズ層向けの催しや企画展等の実施 ・小学校高学年向け事業の全館実施	・第9回「書評漫オグランプリ」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。大阪市内の高校とのコラボ展示、市立工業高校作品展などを実施 ・小学校高学年向け事業を全館で実施	

市民協働による就学前施設等との連携	・子ども・子育てプラザ等就学前施設と連携・協力したブックスタート事業の啓発の推進 ・市立図書館全館の子育て支援コーナーでの、区の子育て支援広報紙・子育て支援施設の行事案内等の配付 ・乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座等の実施 ・幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本回数の増に向けた、モデル施設での年2回配本の実施・検証 ・絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティアの派遣 ・ボランティア養成講座、ステップアップ講座の実施 ・ボランティア間の情報交換等交流の場の拡大 ・ボランティアページの内容豊富化	・乳幼児健診時の読み聞かせ継続実施 ・ブックスタートボランティア講座の継続開催 ・子育て支援コーナーでの取組継続実施 ・乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする展示の充実 ・子育て支援施設や幼稚園・保育所等への配本回数の維持 ・子育て支援施設や幼稚園・保育所等へのボランティア派遣 ・ボランティア養成講座の実施 ・ステップアップ講座の継続開催 ・全区のボランティアを対象とした情報交換を実施 ・ボランティアページのアクセス件数増	・乳幼児健診時の読み聞かせ実施回数58回（前年度39回） ・ブックスタート入門講座 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（前年度2回） ・子育て支援コーナーでの取組継続実施 ・乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座32回（前年度37回） ・市内幼稚園・保育所・子育て支援施設などに433回（前年度比7回増）、年約4か月間貸出（年2回配本を27施設に実施） ・市内幼稚園・保育所・子育て支援施設等へのボランティア派遣 246回（12月から施設状況に応じて再開） ・幼児期ボランティア入門講座38回（総合生涯学習センター実施分を含む） ・ステップアップ講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止（前年度3回205名） ・全区のボランティアを対象とした情報交換は新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣実績がないため中止 ・ボランティアのページアクセス件数4,320件（前年度比4.3%増）	△
大阪の歴史・現状・文化についての学習に役立つ資料や情報の収集提供	・大阪の歴史や文化に触れるクイズを使った「としかんポイントプログラム」の実施 ・連動したクイズ形式の図書館案内、資料紹介継続実施 ・読書や図書館に関心が持てるような講座、参加型プログラムの実施	・としかんポイントプログラム参加者数増（15歳以下）	・としかんポイント参加者数（15歳以下）3,507人（前年度比68.8%増）（再掲）	○
ネットワークの形成	・子どもの読書活動推進連絡会の実施（各区・全市年1回以上） ・えほんひろばの開催など、区役所や地域施設と協力した読書普及活動の実施、情報紙などによる読書普及行事等の情報提供 ・市民協働事業 OneBookOneOSAKAの継続・拡充	・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」および各区の「子どもの読書活動推進連絡会」の開催 ・全館で図書館フェスティバルの継続実施 ・絵本展開催に向けた支援 ・第8回 OneBookOneOSAKA投票実施	・全区で「子どもの読書活動推進連絡会」を书面開催（再掲） ・全館で子ども読書の日記念事業・図書館フェスティバルを継続実施 ・絵本セットや面展台などを貸出、絵本展開催を支援。支援件数22件 ・第8回OneBookOneOSAKA投票実施	○

基本方針 3 学校支援の機能強化

学校図書館活用推進事業の実施
図書の団体貸出等学校への支援・協力

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
学校図書館の活性化	・学校図書館図書整備支援 ・学校図書館補助員、コーディネーターの配置 ・学校図書館補助員の資質向上 ・さらなる学校図書館活性化策の検討、準備	・大阪市図書標準の全校達成維持 ・購入等に役立つ図書リストの提供 ・蔵書更新にあたっての資料提供、助言等支援 ・学校図書館の週当たり開館回数増（各校全授業日開館、週8回以上） ・学校図書館補助員の研修継続実施 ・学校司書配置に向けた準備実施	・大阪市図書標準の全校100%維持 ・購入等に役立つ図書リストを学校ごとに作成、全校提供 ・蔵書更新にあたっての支援実施 ・学校図書館の週当たり開館回数 小学校平均8.0回（前年度8.1回） 中学校平均8.2回（前年度8.1回） ・学校図書館開館（各校全授業日開館、週7回以上）達成校 小学校204校（71.8%） 中学校99校（78.6%） ・学校図書館補助員全体研修会の実施回数3回 ・学校司書採用試験実施	○
市立図書館から小中学校への図書の団体貸出等支援強化	・小・中学校に対し学校送送を使った団体貸出の活用による調べ学習支援 ・「市立図書館活用の手引き」の改訂 ・図書館見学、おはなし会・ブックトークなどの実施 ・学校図書館支援ボランティアの支援。学校図書館支援ボランティアに対する講座の実施 ・学校図書館を活用した読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化 ・学校図書館活用推進事業のページの充実 ・ホームページ「学校支援のページ」の充実 ・学校園における一部商用データベースの活用支援 ・学校図書館支援等読書普及にかかわる中学校等との連携強化	・「市立図書館活用の手引き」改訂 ・図書館見学・職場体験・図書館主任会への参加等連携事業の実施数増 ・学校図書館ボランティア入門講座、実践講座、ステップアップ講座等実施件数維持 ・学校図書館活用推進事業ページのアクセス件数の増 ・学校支援のページアクセス件数増 ・学校園への商用データベース提供継続 ・市立図書館の図書やICTを活用した調べ学習に役立つガイド（中学校向け）の作成 ・大阪市立の学校専用電子書籍ページ開設・周知	・「市立図書館活用の手引き」改訂作業実施 ・学校との連携事業数1,903件（前年度比1.6%減） ・学校図書館ボランティア入門講座、実践講座、ステップアップ講座等7回実施（前年度12回） ・学校図書館活用推進事業ページアクセス件数5,478件（前年度比10.7%減） ・学校支援のページアクセス件数7,228件（前年度比2.0%減） ・学校園への商用データベース提供継続 ・電子書籍を活用したティーンズ向けのガイドを作成したほか、小中学校における調べ学習ニーズの把握、学校図書館を活用した取組事例の蓄積、それによる適切な資料提供等学校支援の実施 ・大阪市立の学校専用電子書籍ページを開設し、各学校に周知	△

基本方針 4 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進
関係機関との連携協力の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
経費節減と歳入財源の確保	・広告事業などの実施による歳入確保 ・ふるさと寄附金の募集広報 ・寄贈資料の大口募集の継続、広報の強化	・歳入金額の維持 ・ふるさと寄附金額の増→児童図書整備 ・寄贈資料の大口募集の継続、募集ページの更新	・貸出レシート広告事業（24館で実施）歳入額539,000円（前年度比60.1%減） ・ホームページバナー広告事業歳入額795,000円（前年度比12.9%増） ・自動車文庫車ラッピング広告事業（1号車および2号車で実施）歳入額100,000円 ・ネーミングライツ随時募集 ・ふるさと寄附金額 1,721,000円（前年度比約460%増） ・寄贈資料の大口募集の継続実施、「企業・団体の皆様へ」ページの寄贈お知らせの追加更新 ・企業団体等からの受入978冊	◎
利用環境の改善	・市立図書館Wi-Fi環境・蔵書検索モバイル版利用促進の広報実施 ・より快適に図書館を利用していただけよう、施設整備や案内表示の見直し	・Wi-Fi環境の広報の継続 ・館内、図書館案内掲示の更新 ・図書館外返却ポストの広報継続	・Wi-Fi環境広報の継続実施 ・Wi-Fi環境の再整備（中央、福島、此花、大正、浪速、西淀川、西成） ・案内板 適時更新 ・イケア・ジャパン株式会社支援による子ども向けスペース改装（11館） ・浪速図書館活性化事業により浪速図書館閲覧室家具等改装 ・森林環境譲与税充当事業により中央図書館ほか全19館閲覧室家具等改装 ・市役所・平野区役所に設置の返却ポストの広報継続 ・市役所返却ポスト利用冊数6,653冊（前年度比1.1%増）、平野区役所返却ポスト利用冊数8,988冊（前年度比17.4%増）	○
人材育成の推進	・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣	・研修参加者数維持 ・派遣件数維持	・全職員を対象とした研修10回実施（前年度9回） ・担当者別研修26回実施（前年度27回） ・府立図書館、文部科学省、国立国会図書館等主催の外部研修に司書を派遣9回（前年度2回）、web研修53回（前年度 延べ137回）	○
中央図書館施設活用構想の具体化	・「Hon+a！（ほな！）」スペースの活用	・「Hon+a！（ほな！）」スペースの活用	・「Hon+a！（ほな！）」スペースでのイベント実施（5回）	○

図書館事業に関わる成果（アウトカム）の把握	・ご意見箱・ご意見フォームの継続設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施	・ネット経由も含む各種アンケートの実施 ・アンケート結果の分析	・中央図書館の利用アンケートをR4年３月に実施 ・講演会ごとに事業アンケート実施 ・ご意見箱・ご意見フォームの設置、回答掲出	○
他機関との連携強化	・国立国会図書館や府立図書館等他機関との連携強化 ・他機関のイベント参加による広報の充実	・他機関との連携継続と新たな連携策の検討・実施	・R3年7月にデジタルアーカイブとジャパンサーチとの連携開始（再掲） ・R3年12月国立国会図書館と連携して外国語書誌作成勉強会（ビルマ語）をリモート開催 ・大阪市と包括連携協定を結ぶプロスポーツ球団・民間事業者との連携事業の実施	○

（評価：◎→目標以上 ○→目標どおり △→目標以下 ×→成果なし）